

議会だより



かみむらの

No. **9**

1996. 2. 10

発行 上富良野町議会

編集 議会広報特別委員会

西保育所 改築



あかるく あたたかくて
とても うれしいです

(1月23日の町立西保育所改築完成式から)

定
常
記
事

西保育所 改築 入所定員の減員を可決 ②ページ

教育 民生 委員会・道外の福祉を視察 ⑥～⑦ページ

官官接待・道路整備など 7議員が 一般質問 ⑧～⑭ページ

改築し入所定員減

場所を泉栄防災センター横へ

12月定例議会は12月14、19、20日の3日間
開かれ条例、補正予算などを審議しました。



▲完成を祝い園児による演奏

町立西保育所は、施設が老朽化したために、昨年12月に改築されました。改築に伴い、入所定員を現在の60名から45名へ改正すると共に、場所を泉町1丁目（泉栄防災センターの横）へ変更する条例を原案可決しました。

建物は、鉄筋コンクリート平屋建て485㎡で、全館温風暖房となっています。総建設費、約2億3千100万円です。防衛施設庁の補助事業で建設されました。保育室3つと事務室、ほふく室などが配置されています。

草分地区

土地改良事業を可決

道営の鉱毒対策事業

草分地区の道営の土地改良事業施工申請のため、土地改良法による議会の議決を行いました。

この事業は、過去の十勝岳の噴火によって、強酸性化した水田用水を改善する

もので、議決の内容は、事業費の9%を町が負担するものです。

改善は、強酸性水の中和施設を設置し、用排水路を設けるもので、稲の収量の減少を防ぐことが出来ます。

改定率0.9%

町職員の給与を改正

町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を原案可決しました。

国家公務員が人事院勧告によって給与等が改定されたために、国との水準から0.9%引上改定しました。改定に当たっては、中堅層の改善に重点を置きました。

改正の内容は、給料、扶養手当と宿日直手当が引き上げられました。



決算 認定

工事請負契約

2企業会計の決算を認定

— 病院事業 2,999万円の赤字決算 —

(単位：千円)

| 区 分 | 病院事業 | 水道事業 |
|------------|------------|-----------|
| 総 収 益 A | 10億3,765万1 | 2億0,730万4 |
| 総 費 用 B | 10億6,764万1 | 2億0,539万7 |
| 差引損益 A - B | △ 2,999万0 | 190万7 |

平成6年度の病院事業会計と水道事業会計の決算は、12月14日に企業会計決算特別委員会の審査報告を受けて認定しました。

病院事業会計は2千999万円の赤字決算となりました。決算特別委員会では接待費の削減や医師の交流などが審査意見として述べられました。

水道事業会計は、190万円の黒字決算でした。決算特別委員会では未収金の徴収などが審査意見として述べられました。

〔決算認定までの経過〕

- ・決算書の提出(町長)
- ・決算審査(監査委員)
- ・決算認定の議案を提出(町長)
- ・決算特別委員会へ付託(議会)
- ・決算特別委員会(書類審査等)
- ・決算認定(議会)

農道工事を議決

日新地区の畷の沢地区団体営農道整備工事の請負契約を議決しました。

道路延長は1千625メートルで平成10年度に全工事が完成する予定です。今回の工事契約の概要は次のとおりです。

- ▽契約金額 5千47万5千円
- ▽契約業者 高橋建設㈱(町内)
- ▽工期 平成8年3月20日まで
- ▽工事内容 橋1基・約20メートル



冬期間工事が進む農道工事

監査委員

平塚 武さんを再任同意

12月20日、町の監査委員に平塚武氏の再任に賛成多数で同意しました。

監査委員は2人で議会選出の佐藤政幸監査委員が現在就任しています。任期は今年の1月12日から4年です。



平塚 武さん

経歴 ▽平塚武氏(ひらつかたけし)昭和19年青年学校卒業。昭和34年6月町教育委員会次長、民生課長、議会事務局長、産業課長、商工観光課長、水道課長、農政課長、税務課長、出納室長、町教育委員、教育長などの要職を歴任し、昭和63年から町監査委員に就任し現在に至る。現在は全道町村監査委員協議会副会長。大正13年6月3日生まれ。71歳 町内宮町在住

要望意見を取り上げました

エキノコックス対策

エキノコックス症の治療対策強化に関する要望意見書が所管委員長から提出され可決されました。

意見書は内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣、厚生大臣、文部大臣へ提出しました。

仏・中国の核実験中止

フランス及び中国の核実験の停止を求める要望意見書が所管委員長から提出され可決されました。国際平

和を希求する立場で両国政府に働きかけるものです。意見書は内閣総理大臣、外務大臣へ提出しました。



補正予算

財源と使い道

一般会計補正予算案

約2億円を可決

■平成7年度12月補正予算の状況 (単位：千円)

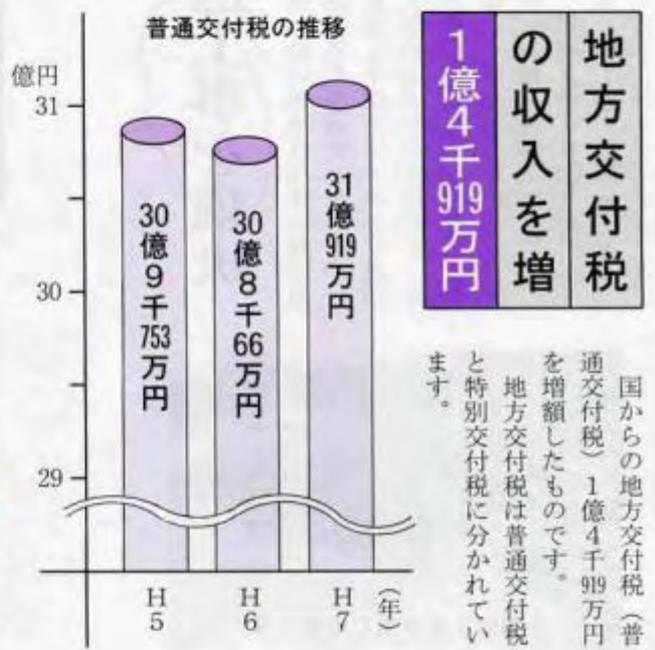
| 会計名 | 補正額 | 補正後の額 |
|---------|-----------|-------------|
| 一 般 | 2億0,591万9 | 104億4,564万5 |
| 国 保 | 1,673万5 | 9億7,266万5 |
| 簡 易 水 道 | △ 222万1 | 5,578万3 |

△は減額

■一般会計補正予算のあらまし

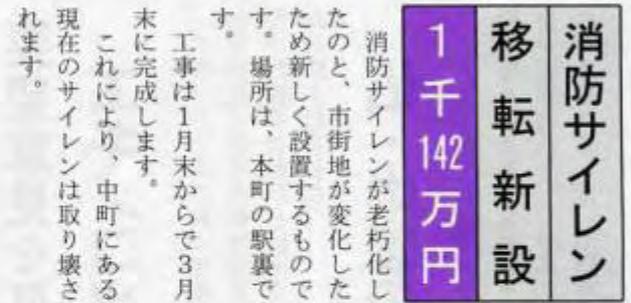
| 歳入(財源)の内訳 | 補正額(千円) |
|-------------------|------------------|
| 国や道からの負担金、補助金、委託金 | 295万3 |
| 地方交付税(国から交付されるお金) | 1億4,919万8 |
| 町債(町の借金) | 360万0 |
| その他の収入 | 5,016万8 |
| 歳入合計 | 2億0,591万9 |

| 歳出(主な使い道)の内訳 | 補正額(千円) |
|----------------------------|-----------|
| 基金積立(財政調整・公共施設整備・開基100年事業) | 2億0,058万5 |
| 畜産環境整備特別対策(事業主体への補助) | 5,736万7 |
| 日常生活用具・補装具給付(老人・身障者用) | 125万0 |
| 市街地区サイレン塔新設(消防サイレン) | 1,142万1 |
| 給食センター備品購入(食缶・冷凍冷蔵庫) | 600万0 |
| 公債費(平成6年度借入分利子) | △ 2,000万0 |
| 給与費(職員の給与改定等) | 3,369万3 |



1億4千919万円 の収入を増 地方交付税

国からの地方交付税(普通交付税)1億4千919万円を増額したものです。地方交付税は普通交付税と特別交付税に分かれています。



消防サイレンが老朽化したのと、市街地が変化したため新しく設置するものです。場所は、本町の駅裏です。工事は1月末からで3月末に完成します。これにより、中町にある現在のサイレンは取り壊されます。

吉岡議員 消防サイレンの住民周知はどのように。
答 住民会長を通して行う。
中川議員 鯉の沢団体会費の道整備の公有財産購入費の減額はなぜか。
答 工事に伴う立木や電柱の移設費が増えたので、公有財産購入費を減らした。
米沢議員 子ども会などが行う廃品回収の保管庫の設置は考えていないのか。
答 古紙、空き瓶は速やかに回収業者が引き取るよう指導したい。

缶などの圧縮物は町の収集日に合わせて回収するよう平成8年度に検討したい。
町内ごとにクリーン推進員を設置したい。
図書館の蔵書数と昼休み開放は
答 蔵書数は3万2千冊。昼休みの開放は、前向きに検討したい。
公債費の借り換えはできないのか。
答 政府資金は出来ないが、繰上債資金の借り換えは、財政ひっ迫の場合には、申し入れするよう努力していきたい。
基金の積立て利息は
答 現在は0.5%である。

質疑

財産取得

農家にファクシミリ設置

平成7年11月24日の臨時町議会で、農業情報システム機器（ファクシミリ・パソコン）と気象情報システム機器の財産取得の議決を行いました。

700万円以上の財産の取得は議会の議決となります。

▽農業情報システム機器

▽納期 平成8年3月29日

▽取得金額

1億2千493万9千円

▽取得先 日本電信電話㈱

▽気象情報システム機器

▽納期 平成8年3月29日

▽取得金額

1千606万8千円

▽取得先 財団法人気象協会

北海道本部旭川支部



納入が進むパソコン・ファクシミリ

【議決までの質疑】

仲島議員 ファクシミリは希望を聞いて了解がされているのか。

答 設置する58戸は承諾をしている。

米沢議員 購入する機器メーカーの能力差は何か。

答 記録紙の長さが50センチは30センチ。停電時は他のメーカーでは発信出来ない。グループ内の発信が容易。

吉岡議員 中富良野町は設置費の全額を町が負担しているが、当町は農家が一部を負担する理由は。

答 住民の形態が違うのと受益者負担の原則から一部を負担することが平等。

日の出公園拡張

—オートキャンプ場予定地—

日の出公園の用地取得を議決しました。

場所は現在の日の出公園に隣接する田と宅地で平成8年度から町がオートキャンプ場として整備するため

に用地を取得したものです。

全体面積は、3万7千651㎡で平成8年度から工事が開始されます。

▽面積 8千641㎡

▽取得価格

3千421万5千500円

▽取得先 菊池慎一



第7回臨時会

災害復旧工事

6千219万円補正

平成7年10月26日の第7回臨時町議会で災害復旧費などを始めとする、1億2千45万円の一般会計補正予算を可決しました。

災害復旧は昨年春の河川の融雪災害の復旧工事です。

臨時議会

第1回臨時会

ごみ処理計画

600万円補正

平成8年1月11日の第1回臨時町議会でごみ中間処理施設の基本計画策定業務を始めとする、61万6千円の一一般会計補正予算を可決しました。

ごみ中間処理施設の基本

| 災害工事名 | 工事延長 |
|-------------|------|
| 北 30 号 川 A | 105m |
| 北 31 号 道路 A | 32m |
| 北 31 号 道路 B | 63m |
| 西 13 線 川 | 16m |
| 旭 川 A | 25m |
| 旭 川 B | 62m |

計画は、日新地区に造成した一般廃棄物の最終処分場に焼却施設などを建設するもので、その計画策定費用は600万円です。



完成した焼却灰処分場



防寒対策で工事をスムーズに

福祉は

3市町を視察



生ゴミはコンポストで

▶視察委員◀

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉岡光明 |
| 副委員長 | 青柳輝義 |
| 委員 | 海江田博信 |
| 委員 | 松井喜代治 |
| 委員 | 梨澤節三 |
| 委員 | 清水茂雄 |

教育民生委員会は、平成7年11月12日から17日まで、島根県出雲市、山口県徳山市、広島県加計町の2市1町を視察研修しました。
出雲市は、人口8万7千27人で、世帯数は、2万6千116世帯であります。
この出雲市は、前市長が東京都知事選に出馬した岩田哲人氏であり、その業績に触れることは、大いなる期待でもありました。
ごみ焼却場のいらぬシステムを目指して
出雲市では、現在の焼却



夕ウシヨール号を視察する視察委員

システムに替えてコンポスト号という車両機械により生ゴミを破碎し、これに発酵菌を加え熟成肥料とするシステムです。
燃えるゴミの処理は、タウンコール号という車両機械により、燃えるゴミを固形燃料にするシステムです。
これらのシステムは、現段階では試験運用中であり、装置の騒音、配置の問題、製品燃料の利用方法など、ごみ焼却場に変わるシステム実用にはいくつかの課題がありました。



試験中のコンポスト号

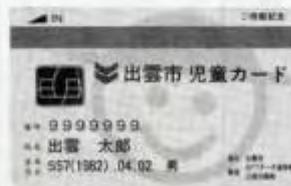
健康を守る

市民カード

次に、出雲市の「市民カードシステム」ですが、行政情報や保健情報を記録したICカードを市民にもってもらい、健康管理、緊急医療、窓口サービスなどを今まで以上に正確で迅速に受けられるようにするものです。
調査の結果、プライバシーの保護、カード情報の信頼性などへの措置、カード利

道外視察とは

議会では各常任委員会ごとに4年に2回、道外へ視察することを議会のきまりである「先例」に定めています。視察費用は議会費で賄われます。日程は4日間と6日間、あらかじめ所管する調査項目を定めて視察を行い、その結果を議会や議会広報へ報告し議会活動に反映することになっています。



出雲市児童カード

用が出雲市内のみであることなどが難しい問題点であるように思われました。
また、市民の異動の問題もあり、広域的運用への検討を含め今後に残された課題があるように思います。

広島県 加計町

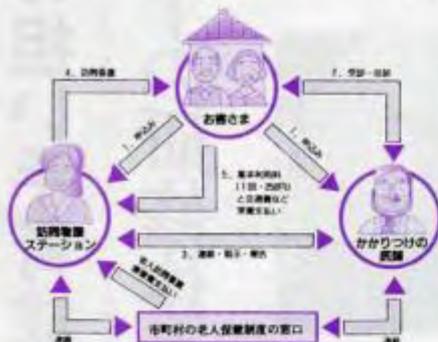


保健・医療・福祉は「あんしん」で

加計町は人口5千2百人で、世帯数は、1千900世帯であります。この町は元参議院議員源田実氏の兄が長く町長であった町として知られています。

心と体のパートナーを自覚して

この町は、国保病院を主体に、保健福祉総合施設「あんしん」をサブ施設として、院長が施設長となり全権が与えられ運営されています。「あんしん」には、「健康管



理部門」「在宅介護支援センター」「ホームヘルプ事業」「訪問看護ステーション」

の施設機能があります。また、国保病院としては珍しい高齢化社会を先取りした「痴呆患者収容治療棟」「精神科病棟」113床が併設されています。患者数100名で原爆の広島としての特異性が見受けられ、万感胸に迫る思いでした。

一般病棟105床の内、ベッド18床を町内の一般病院に解放して、町内患者への救済に積極的に取り組んでいるなど、教えられることがとても多かったです。

道外の

教育民生委員会

山口県 徳山市



買物が近くて便利

軽 費「きずな苑」 老人ホーム

徳山市は人口11万198人で、世帯数は4万2千815世帯であります。

徳山市では、軽費老人ホーム「きずな苑」についての報告をします。

この施設は、ほぼ市の中央にあり、第3セクター方式により経営しています。昭和59年9月に鉄筋コンクリート2階建、事業費4億9千75万円で完成された施設です。

特色は、商店街が近く、交通の便が良いこと。街の中心にあるということなど

が、当時としては画期的な発想で大きな特徴といえます。施設定員50人に対し、現在夫婦10人、単身者38人が入所してました。



まとめ

今回の視察をして、21世紀の長寿社会をいかにして質の良い福祉を生涯にわたって受けられるか、そのためには、町の「老人保健福祉計画」の中身がどのように実践され、どのような形で包括したケアシステムを構築していくかが課題であります。

特に、加計町の保健福祉総合施設などを視察して、関係者と住民がいかにして協力し一体となって進めるかが福祉行政推進の鍵であると考えます。



真剣に技術指導を受ける農業者



西村議員

Q、農業の担い手育成を積極的にせよ！

A、担い手の研修体系を検討したい

各種団体への負担金、補助金について

問 平成6年度の決算を見ると、補助金、負担金は少ないものでは、2千円から多いものでは100万円を超えるものもある。

特に、町外の団体については、類似した名称の団体があり、管内的、全道、全国的な組織団体に負担金を支出しているが、それらの必要性について、十分検討し支出しているのか伺いたい。

町長 補助金等の整理合理化は、町行政改革を進める上で重要な事項として取り組んできたところであり、町では行政改革大綱を策定し一定の基準で整理合理化を図ってきた。

また、町外の組織、団体についても、上川町村会で十分検討している。その対応については、補助金の効果等を検討し、必要止むをえないものについて対応しているところである。



野菜は苗が肝心

農業後継者育成について

問 厳しい農業情勢の中、あらゆる機会を通して、資質の高い能力のある中核的担い手を育成するための取り組みを体系化又は研修要綱を作成すべきでないか。

また、その取組みを発展的段階に応じて、町独自の資格を認定し、担い手のはげみとするような取組みは考えていないのか。

担い手を海外に派遣することによって、国際的な人材を育成することも必要と考えているが町長の考えを伺いたい。

町長 町では、国際交流基金を活用し、全町民を対象に海外派遣等の育成事業を行っている。

研修等についても農政の中で対応に努力しており、国際化、情報化時代に向けては、体系化した研修カリキュラムをもって、取り組むことは痛切に感じているところであり、内部で検討し取り組んで参りたい。

新規就農者の受入れは

問 今年度より実施している「新規就農者誘致等対策事業」の中で、農業委員会が定める町の平均面積の概ね80%を確保し、更に経営計画を樹立するとあるが、色々な農業展開が考えられる現状の中でこうした規制を設けることは、新規就農者の多様な農業展開の道を閉ざすことになるのではないか。

町長 近年、農家戸数や農業労働力の減少、農村の高齢化、後継者のいない農家の増加率が急速に進行して



農家のふれあいも大事

いる中で意欲と能力のある農業者を育成、確保するため、この事業に取り組んだところである。その結果、新卒卒者4名、Uターン1名に奨励金を交付したところである。

ご質問の基準の改善については、農業実習2年以上、22才から45才と定めているが、経営基盤確立のため、国の制度資金を導入するためには、これらの要件が最低必要となるところである。今後はこれらの推移を見ながら新規就農者の家族構成、意欲等を十分踏まえた中で、それなりの成果が見込まれるならば、前向きに進めたいと考えている。



▲着実に進む道路改良



久保田議員

Q、町道改良の優先順位の基準は？

A、交通量等を勘案し幹線を優先

町は重点施策としてここ数年、町道改良に取組み、ほぼ管内町村の平均水準まで整備を進めてくることができたが、一歩市街を離れるとまだまだ砂利道が多く見受けられる。

私は、主要町道・特に郡部における改良及び舗装工事・歩道の整備促進等を中心に今後の町道整備の方針と基本計画について伺いたい。

町道の改良状況と優先順位の基準は

問 最近、道路網の整備や維持管理の充実がされているが、しかしながら、近隣町村と比較して特に本町が完備されているとは思われないので、上川管内及び隣接する町村の改良実施率を示されたい。

また、道路整備の優先順位をどのように認識しているか伺いたい。

町長 十勝岳噴火関連もあり、ここ数年重点施策として取り組んできた結果、

改良率は、44・7％・舗装率36・1％となり、上川管内の改良率49・6％・舗装率38・9％を若干下回っている。

隣接町村では、中富良野町改良率60・4％・舗装率54・3％。

美瑛町改良率49・7％・舗装率31・7％となっている。

本町は、隣接町より下回っていますが、今後も改良に取り組んでいきたいと考えているがご理解を願いたい。

優先順位については、幹線道路を第一に交通量、農産物の搬出等を勘案しながら順位付けを行っている。住民生活に配慮した工事の実施を

問 工事の施工にあたり、1か所あたりの工事量が少なく、分割施工されている現状において、農作業や通行に支障のないように配慮されたい。

また、工事中の迂回道路の確保は困難を来しており、

このため、地域住民の生活に影響を及ぼしているので、事業実施計画及び予算執行に当たり、工事を集中的に実施できないものか。

町長 現在、町が進めている改良工事は、建設省関係をはじめ24路線を実施しており、路線数が多いことから進捗率が低くなっている。

今後の対応において、実施される事業量を把握し、短期間に完了出来るよう計画の見直しを行い、ご指摘の点等の解消に努めて参りたい。

交通安全対策のための歩道設置を

問 社会の進化により歩行者の危険度は年々高まってきており、歩道の設置は急を要するが、特に郡部の設置は皆無に等しい。

こうした中、国道等幹線道路と集落を結ぶ幹線町道の市街に近い部分だけでも一日も早い歩道設置の実現が必要と考えるが将来に向

けての見解をお聞かせ願いたい。

町長 郡部における歩道の設置については地域の実情要望等を考慮し、建設省が策定する交通安全施設等整備5か年計画に盛り込み年次計画により継続2路線と新規2路線を計画したところである。

歩道の未整備路線については、今後の計画見直しの中で検討して参りたい。

再質問 東中地域の道路整備（北17号、北19号、東7線道路等）に関する要望書が二度にわたり提出されているが、今後の整備計画に反映されているのか具体的に答えていただきたい。

町長 町の財政面からも同時に3路線を整備することは困難であるが、実施計画において東7線道路を農道整備事業により平成8年度から着手したいと考えている。その他の道路についても出来る限り早い時期に整備を図っていきたい。



仲島議員



雪ですべりやすい 駅こ線橋

Q、融雪機の設置は A、調査検討する

Q、駅こ線橋の除雪は A、屋根又はロードヒーティングで予算化したい

融雪機の設備設置を

問 我町の除雪対策は多くの問題があるが、各市町村で融雪機の設置に融資をしている市町村があり、札幌、滝川等では個人設置に融資と利子補給をしているが、我町では今後どのように考えているか。

町長 雪国で雪処理は宿命的な問題であり、今後先進地の事例などを調査検討して参りたい。

再質問 個人に融資をするということか。

町長 団体又は各町内会の話し合いで考えてほしい。

商店街活性化について

問 この問題について町長は危機的に考えていないように思われる。商工会とか、街づくり委員との話し合いの中でという一時的な考えであるように思われ、まったく積極的でない。これは個人的に出来ない問題なので、もう少し積極的に進める必要があると思う。例えば、上川町では町職員2名

が専門的に事業を進めている。商業者の受け持つ分野等課題を検討整理し相互に知恵を出し合い将来ビジョンを立てなければと思うが町長の考えを伺いたい。

町長 活性化については、これまで蓄積された教訓を活かし、商工会、商業者と結束を固め活性化が夢と理想で終わることのないよう相対的な計画がまとまった段階で所要の措置を講ずるよう配慮する。

駅こ線橋の除雪対策は

問 本町住民会から数年前から要望のあった駅こ線橋に早期にロードヒーティングを設置する考えはあるか。

町長 この問題は、駅を中心にして東西を結ぶ連絡橋であり、地域住民の要望で、昭和59年に完成し、現在、駅こ線橋に屋根の設置又はロードヒーティングの検討を進めており、出来るだけ早く整備して参りたい。

再質問 ロードヒーティングを早期に整備すること

ですが、期日は、また、駅前再開発は何年頃から実施するのか答弁願いたい。

町長 屋根又はロードヒーティングを平成8年度に予算化したい。駅前再開発は、計画では平成10年より実施する予定である。

建設工事の指名について

問 建設工事の指名基準はどのようになっているのか。

町長 建設工事の指名基準は昭和57年5月に、建設工事に係る指名競争入札参加者の指名及び指名停止、入札参加排除に関する基準を定めている。

業者の経営内容、契約の性質上法令による許認可が必要な場合にはその許認可業者であること、また、一定の建設工事では資格を有する専任の主任技術者がいること。

指名業者の格付けは2年ごとに審査し北海道知事の審査を経て、経営規模、経営状況、技術力、労働福祉の状況を見て建設業者は施

行成績を点数にしている。0から50までの8段階に

応じて、AクラスからDクラスまでの4ランクに格付けしている。Aは6千万以上、Bランクは3千万円以上6千万未満、Cランクは1千万円以上3千万円未満、Dランクは、1千万円未満である。

格付けされたランクの指名範囲は

問 建設工事で格付けされたランクの指名業者の範囲はどのようになっているのか。

町長 格付けされた町の発注基準に基づき等級に格付けされた者を指名している。例外的に予定価格に対応する等級による格付けされた者が5人に満たない場合は上位1級又は下位1級の者を、二つ目は施工上特殊専門技術、高度な技術、三つ目は災害復旧工事、四つ目は施工が特殊ではなく施工能力があれば2級に格付けされた業者も出来るものとしている。



◀本番さながらの防災訓練



吉武議員

Q、町の情報公開は A、制度を検討する

Q、自衛隊を町防災会議に A、メンバーとして 条例を改正する

情報公開について

問 道庁の今回の不正問題も情報公開により、発覚したもので町村のさきがけとして、情報公開に踏み切る考えはないか。

町長 情報公開制度は憲法21条等が保証する「知る権利」であるが、現在のところ都道府県においては、ほとんどが制定されているが、中小都市及び町村では少ない状況にある。

情報公開制度は発足後まもないことから、個人のプライバシー侵害等の問題が係争関係にも発展した事例もあるようである。

制度の制定には個人のプライバシーの保護等の観点から十分な研究が必要と考えているので、今後広く町民の方々にご意見を賜り制度の制定について検討していく。

基地調整室の体制充実

について

問 基地調整室の体制の充実はどのように考えている

のか伺いたい。

町長 自衛隊関係団体に関することや自衛隊渉外業務に関することである。

問 基地調整室の充実強化のため、その補助者として、自衛隊のことを良く理解している者を配置する考えはないか。

町長 4月に基地調整室を設けたので、今後の課題としたい。

問 町主催以外の自衛隊に關係する各団体の催しについても、基地調整室を通じて自衛隊との調整が行われているのかどうか。

町長 各団体が計画している年間の行事について、自衛隊との調整会議を行っており、この会議において、町主催以外の行事については、それぞれの団体が直接自衛隊と協議することになっている。

自衛隊の派遣並びに支援協力について

問 上富良野町駐屯地が町の防災会議のメンバーにな

っていないのはなぜか伺いたい。

町長 本町においても正式な防災会議のメンバーとしてではなくオブザーバーとして防災会議に出席をいただいている。

国の防災基本計画の見直しや自衛隊が自主派遣が出来るなど弾力的な内容になったことから、富良野沿線市町村においても、それぞれ正式な防災会議のメンバーに入っていただくように意見の統一を図ったところである。

本町でも自衛隊に対して、正式に防災会議のメンバーとして要請し3月には関係条例を改正する予定となっている。

問 自衛隊に対する支援、協力を要請する場合と隊員個々を対象として要請する場合にどのように考えているのか伺いたい。

町長 自衛隊に対する支援、協力要請は、町と関係団体が窓口となっている。

今後、募金の取扱いについては、誤解のないように十分な説明をして参りたい。



◀自衛隊作製の雪まつり雪像の引き渡し式



米沢議員

◀商業振興には難しい課題が
(着工した町外からの大型店)



Q、官官接待を廃止せよ！ A、原則廃止する

Q、米軍演習場移転に反対せよ！ A、表明できない

官官接待の廃止

問 官が官を接待し、その回数が多いか少ないかによって、事業量、補助金等が左右されるとしたら問題で道民が怒るのが当然である。

上富良野町においても食糧費、交際費を使った官官接待の廃止と情報の公開を町民の多くが望んでいる。

私は、11月15日に町に対して官官接待の廃止と公文書の全面公開と情報の公開条例の設置をするよう申し入れたが、今後の対応について伺いたい。

町長 町としても、平成6年度及び平成7年度上半期の食糧費、交際費の支出実態を明らかにし官官接待の原則廃止、当該予算3割削減の指針を定め情報公開条例の制定も町民の意見を聞いて検討したい。

米軍演習場移転反対について

問 日本は地域紛争介入の前線基地となっている。沖縄での米兵による少女

暴行事件に端を発して、米軍演習場の移転が上富良野町を含めた9か所が移転候補地として挙げられているが、町は町民に不安を与えている演習場移転に反対すべきではないか。

町長 正式に話しがあった場合は議会とも協議し対応したい。

商業振興について

問 大型店の出店は、町の中小店の経営を脅かすだけでなく商店街をさびれさせ地域の街づくりを困難にする。ダイイチスーパーなど大型店の進出による地元店舗面積に占める割合が31%を超えるが、町は商店の育成と後継者対策など具体的な計画を持っているのか。

町長 厳しい状況を認識し、質問にある諸課題の具体的な対策への取組みと商工会、業者とも協議して所要の措置を講じて参りたい。

生活飲料水確保について

問 江花地区水道利用組合の取水施設に濁水が流れ込

んで生活飲料水が使用出来ない日があり、早急な改善が必要と考えるが対応について伺いたい。

町長 地区住民と十分協議し生活に支障のないように対応したい。

農業振興について

問 11月より新食糧法が施行されたが農業関係者から稲作農業を続けていくことが出来ないとの声が出ています。

日本共産党は、米を守るために政府の買入価格1俵2万円、備蓄米200万トンと300万トンの政府買入を行い、下支えることなどを当面要求している。

自由貿易から農業分野を切り離すよう関係機関に働きかけ、認定農家以外の農家にも町独自の救済対策を取るべきだがどうか。

町長 現在の農業振興対策などで対応したい。WTO協定改正については国政レベルの問題と考えている。

福祉行政について

問 高齢者等の給食サービスを受けている方から栄養面での改善が必要だとの声があるが、見解について伺いたい。また、授産施設の誘致と授産施設へ通所する方への交通手段の確保について伺いたい。

町長 授産施設に通所する方の交通手段の確保について検討したい。授産施設誘致は、現在の小規模授産所の充実を図っていく。

再質問 演習場移転反対を表明しないのは、容認と受けとめてよいのか。

町長 演習場移転が明確でないので表明出来ない。
再質問 行政としても危機感をもって事業者の後継者対策と育成計画を持つべきだがどうか。

町長 要望の点は商工会、商店と十分協議したい。

再質問 認定農家以外の農家にも町独自の救済対策をする考えはないか。

町長 内部協議したい。



昨シーズン17万人の利用があった日の出山スキー場



清水議員

Q、少年課を設置せよ！
A、今後、必要となれば
検討したい

Q、スキー場新設の考えは
A、当面はない

青少年健全育成対策は

問 青少年健全育成対策は最重要課題であり、どの事業よりも優先して遂行しなければなりません。そのためには少年課を設置し行政が中心となり取り組むべきと考えるが、町長の所信を伺いたい。

町長 少年期の育成が重要であるが私も十分認識しており町内関係機関の協力で「青少年健全育成を進める会」が発足し活動しており、少年課設置については、当面現行組織の中で連携を密にし健全育成を図って参りたいと考えている。

再質問 今後少年課の設置を考えているのか、時期はいつごろか伺いたい。

町長 少年課の設置については、まだ考えを詰めていないが、今後必要となれば検討したい。

高齢者と身体障害者住宅について

問 浴室は、親と子のコミュニケーションの場として大

切な空間であり、高齢者、身体障害者は狭いと行動が制限され危険である。

今後公営住宅の建設には配慮が必要と思われるが所信を伺いたい。

町長 今後計画している住宅はゆとりある居住スペース等の改善を図り高齢者、障害者等弱者にやさしい住宅建設に努める。

自衛隊東門前交通対策

問 自衛隊東門前交差点について、昨日、地元道議、町議数名、駐屯地関係者等で視察し、全員高架が望ましいとの意見であった。

地元道議より上川管内の開発事業として陳情してはとの助言があった。

町長は前回、早期に改善をと答えたが、その後の経過、今後の取組みについて伺いたい。

町長 関係機関である公安委員会、道、自衛隊とも協議し6差路を4差路に改良し、交通量を緩和することにより改善を図るよう現在

協議している。

再質問 高架による方法で努力する考えはないのか伺いたい。

町長 高架が出来るのであれば、その実施についての進め方を道に対して運動を展開していきたいと思っ

る。

スポーツ対策について

問 日の出山スキー場は、当町のスキー人口及び現代のスキー技術に対応が出来ない状態であり、その対策が必要と思われるが所信を伺いたい。

教育長 現スキー場は上級者には物足りないが、一般向きに活用出来るところからリフトを設置し利用しているところである。

再質問 取得した用地を利用して南西斜面にスロープを作る考えはないか。

また、スキー場を他に新設する考えはないか伺いたい。

町長 スキー場を新設する考えは当面はない。

拡張については、その余地があるとすれば検討したい。

問 丘町の屋外多目的施設の冬期利用について、早期にコース作りを願いたいと要望があるが、その所信を伺いたい。

教育長 今シーズンより町民の方々に利用いただきたい。

官官接待について

問 道の関係機関の官官接待に伴う公費の不正乱用に對し書状をもって抗議すべきと思うが、町長の所信を伺いたい。

町長 道として賢明なる事態の収拾策が図られるものと考えており、今はその事態収拾を見守ってゆくべきと考えている。

問 当町では、官官接待について今後どのように対応するのか所信を伺いたい。

町長 町として、その実態調査を行い、食糧費の3割縮減の方針を定め、公正な執行に努める。



梨澤議員

◀改修が待たれる役場玄関



Q、役場玄関にスロープを設置しては！

A、平成8年度に改修を考えている

福祉について

問 役場玄関にスロープと自動ドアを設置する考えはないか伺いたい。

町長 高齢化社会を迎え現庁舎は、一般的に利用しづらい実態にあることは常々感じている。

また、町民の方々からも容易に利用出来るようにとご意見をいただき、種々検討しているが、間もなく開基百年を迎えることでもあり、明年には思い切った改修をと考えている。

改修には4、5千万円かかり補助制度もなく、一般財源を投じての改修となる。

改修の方法等については、議員の皆様のご意見をいただきたい。

問 冬季に社会教育総合センターを高齢者、身体障害者に歩行訓練等の場として無料開放にする考えはないか伺いたい。

教育長 身体障害者の方については、条例等の関係もあり、新年度から無料開放

出来る方向で進めて参りたい。年齢区分については、その利用形態が団体利用の場合もあり今後の検討課題としたい。



建設中の十勝岳健康保養センター

十勝岳観光について

問 温泉源の確保については各市町村は涙ぐましい努力をしているところだが、その温泉源の重要性についてどのように考えているか伺いたい。

町長 個々の温泉源の重要性については十分承知いたしているところであるが、十勝岳温泉郷として共に栄えることを希望するもので

ある。

下水道料金について

問 先般教育民生常任委員会において、下水道料金の改定について協議があったが、その後、取下げられたが、なぜ議員協議会等で論議を深め周知の徹底をされなかったのかどうか。

また、本件は受益者負担ということもあり、一般財源から見ると農家の方等関係のないところに負担がかかり、水道料金等の関連もあるところだが考えを伺いたい。

町長 下水道使用料については、平成3年以来5年間現行料金で運営をしており、その維持管理は非常に厳しい状況にあるが、現段階では水洗化の普及率向上が先決と考えている。

今後料金をどのようにするのかは、維持管理費を含めた経費の状況あるいは普及率の動向等を勘案し慎重に検討したいと考えている。

北海道上富良野地域補償防災事業監督員詰所について

問 所管及び使用目的は。また、維持管理及びその費用について伺いたい。

町長 この施設は道が日の出ダム等の工事施工の際に設置したものであり、その後事業完了に伴い昭和59年3月31日、町に無償で譲与され、引き続き防衛施設庁の障害防止対策事業に伴う監督員詰所として使用し現在に至っている。

維持管理は町が行っており、費用は全額防衛施設庁の負担となっている。



下水道工事

議会傍聴 あれこれ

わたしもひと言・・・

活発な議論展開を！

今回の12月19日、一般質問というこ
で、しばらくぶりで傍聴しました。

ところが、傍聴者が多いのにびつくり
し、町政に関心のある方々に思えました。
傍聴席に着きますと、隣に着席してい
た方に、現在は議場内の傍聴席での脱帽
はしなくても良いのでしょうかとの質問
にあれと思ひ、私も勉強不足で申し訳あ
りませんねと答えました。

一般質問になりますと、新人議員の質
問に、私には疑問と思われる内容のもの
もありました。

1万3千人余りの町民を代表されてい
る議員さんですから、町民は活発な質問
が展開されることを期待していることと
思われます。そして、町民の思いが少し
でも反映されることを期待しています。

今後とも議員各位の活発な議論が展開
されることを期待します。

これからは国にはじまり、道や町も徹
しい予算になることと思ひます。



岡沢孝春さん

旭町3丁目

議事がスムーズだった

東中中学校の生徒の傍聴感想から

12月20日、東中中学校の3年生の生徒
8人が社会科の学習で町議会を傍聴しま
したので、感想を紹介します。

傍聴で印象に残ったことは、議会がス
ムーズに進んでいることでした。でも、
話をしている内容がよく分からなくて聞いて
いてもあまり面白くな
かったです。議会の様
子は今まででしらかつ
たけど、初めて見たの
でとっても勉強になっ
たような気がします。

(島田 大輔)

議会の進め方が提案
してから質問、採決な
ど私たちの話合いの進
め方と似てるところが
あると思ひました。

議長の進行でスムーズに進んでいるの
が良かったと思ひました。(安井 優希)
傍聴に行つて、思ったことは、議会で
いろいろなことを決めていくこと、議
員が質問をするときに自分の名前を言っ
てから意見を言うことが分かりよかつた
です。(川口 智士)

議会は、「けっこうせまい所だなあー」
と感じました。行く前は、「もっと広い所
でやっているんだろなああー」と思つて
いました。30分くらいしか聴くことがで
きなくて残念でしたが、議会の内容が分
かつて良かったと思ひます。(木村 和恵)

参考にしたいと思つた

傍聴して思つたことは、議事の進め方、
採決の仕方などがとてもスムーズだった
ということでした。質問の仕方や答え方な
どがしっかりと言葉がまとまっていってす
ごいと思ひました。話合いの進め方など
参考にしたいと思ひます。(楠本 勝紀)

傍聴して、1番最初に思つたことは、
議場がとても立派でびっ
くりしました。話合い
の仕方が上手だったか
ら、いい勉強になりま
した。また、傍聴する
機会があれば行きたい
なあと思つた。

(森本 匡則)

議会で議案を提案し
て、議員がそれについ
てすぐ質問したことや、
さらに、その質問に対
して提案した人がすぐ
答弁したことにもビツ
クリしました。僕達の学級では一つのこ
とを決めるのにとても時間がかかること
があるけれど、思ったことをすぐ言つてす
ぐ決まっていました。さすが、町の代表
だなあと思ひました。(丸山 純)

傍聴で感じたことは、始める時間が遅
れたり、進めるのに時間がかつたり、
形式的には中学校の生徒総会などとあま
り変わらないと思ひました。でも、使う
言葉はとても難しく、最初はあまり聞
き取れませんでした。難しい言葉を平
気ですぐ議員さん達はすごいと思ひま
した。(並河 由紀)

産業建設委員会

農業・商業振興を調査中

産業建設委員会では、農業振興及び商業振興の現況を調査しています。
現在は、農業関係で野菜価格安定化基金の積立や基金の状況などを調査しています。今後は商業関係を調査します。



▲現地調査中の産業建委員

町総合計画の実施状況を調査中

総務委員会では、現在、町総合計画の実施状況を調査しています。

町総合計画は平成元年度から、平成10年度までの10年間の計画です。



総務委員会

遊休財産は処分すべき

総務委員会では、議会の閉会中に公有財産の現況を調査し、その結果を12月14日の議会で報告しました。調査は、昨年9月から4回の委員会を開催し、現地調査などを行い、委員会の意見をまとめました。
その結果、普通財産の土地で個人使用や未使用のものがあることから、委員会ではこれらの土地は処分すべきとの報告を行いました。



◀現地調査中の総務委員

委員会レポート

議会運営委員会

厚岸町と浜中町の議会は

議会運営委員会では、11月20日から22日まで、釧路管内の厚岸町議会と浜中町議会を視察研修しました。
視察では、議員定数の減少の経過や本会議の運営方法、予算・決算特別委員会の審議内容を研修しました。特に両町議会とも議場内の審議の様子を役場1階にビデオ中継していました。

視察町の比較

| 区分 | 厚岸町 | 浜中町 |
|---------|----------------------|---------|
| 人口(人) | 13,444 | 8,169 |
| 議員数(人) | 22 | 18 |
| 議員報酬(円) | 月 193,000 (両町とも管内統一) | |
| 期末手当 | 報酬の4.1月分 | 同 5.2月分 |
| 定例議会日数 | 20日 | 14日 |
| 議会広報 | 年4回発行 | 年4回発行 |
| 議会中継 | 役場に放映 | 役場に放映 |

小野三郎議員 自治大臣表彰



小野三郎議員

町議会の小野三郎議員は、昨年10月に議会議長などの功績が認められ自治大臣表彰を受賞されました。
昭和46年に議会議員に初当選し、現在7期目です。
この間、昭和58年からは町議会議長として活躍されました。

編集後記

◎議会だより第9号をお届けします。
12月定例会と臨時会等の内容を中心に編集しました。
◎今回は7名(内新人6名)が質問に立ちました。
質問内容はそれぞれ努力し、納得いく答弁の時はそれを心待ちにしていた町民方々も喜んでいただいたことと思います。
質問準備の間、見る眼、聞く耳、足を使い眼線を町民の皆さんと同じくし、日夜充実した時期であったことと思います。
◎昨年度を振り返ってみると阪神大震災からはじまり天災人災の連続「もんじゅ」住専で終わるかと思えば12月23日に十勝岳が騒ぎ出し7年前のクリスマススイヴが思い出されました。
◎今年がよい年であることを願いながら編集後記を書きました。
議会広報特別委員会
(副委員長 梨澤 節三記)